

滋賀の文化情報誌
デュエット

Duet

2015 春 vol.115

特集

地域を学ぶ ミュージアム・ツアー

新撰 淡海木間撰 59 鍾旭

INFORMATION STATION 催し案内・2015 春

MYBOOK 自費出版物の紹介

SUNRISE BOOK PRESS サンライズ出版の新刊案内

特集



地域を学ぶ ミュージアム・ツアー

昨年、滋賀県博物館協議会は、環びわ湖大学・地域コンソーシアムと協働して、「滋賀県の博物館・美術館における大学生のための地域人材育成プロジェクト」を立ち上げ、その1つとして、11月15日と12月7日の2回、大学生が県内の博物館と美術館をめぐるツアーを実施しました。

学生スタッフを務めた4人と協議会事務局(滋賀県立琵琶湖博物館)の山川千代美さん・亀田佳代子さんに、ツアーを振り返ってもらいます。

写真／辻村耕司・サンライズ出版



銅鐸博物館にて、齊藤慶一学芸員（手前左）による銅鐸の埋納状態を再現した展示の解説



MIHO MUSEUM 南館1階から、吹き抜けて見下ろせる地下1階床面に敷かれた「ディオニュソス・モザイク」(ローマ時代 3~4世紀)について、畑中章良学芸員の解説を聞くツアー一行

学生スタッフ4名は「地域博物館プロジェクト」メンバー

— 学生スタッフとして企画から関わった4人は、滋賀県立大学の「地域博物館プロジェクト」のメンバーでもあるそうなので、そちらをまず説明してもらえますか。



片岡駿一さん

滋賀県立大学
人間文化学部 4 回生

片岡 地域博物館プロジェクトの活動の中心は、古民家とそこに所蔵されている民具や古文書類の調査です。私は3回生の時から、高島市にある大村家（白谷荘歴史民俗博物館）に残された民具や古い教科書の整理、ハガキなどの書類の内容を読み取って、当時の人がどんな生活を送っていたのかを記録していました。



小池真那加さん

滋賀県立大学
人間文化学部 4 回生

小池 私は2回生の時に、博物館プロジェクトを知り、古い教科書の調査など、3年間活動してきました。

ツアーの話に移る前に、あわせて滋賀県博物館協議会が県内大学生に配布したミニ冊子「滋賀ミュージアム・ポケット・ナビ」について、協議会事務局の山川さん、亀田さん、説明をお願いしますか。



渡邊文乃さん

滋賀県立大学
人間文化学部 2 回生

渡邊 私が3代目の代表を務めています。昨年度は、近江八幡市で代々ヨシの卸業を営んでおられる西川家のヨシ博物館（閉館）だった蔵の中に保管されていた民具や資料を調査しました。現在、これらは滋賀県立琵琶湖博物館に預けられています。そのほか、守山市の下之郷史跡公園では、保管されている民具の調査を地元の方々といっしょに行いました。



上田睦実さん

滋賀県立大学
人間文化学部 2 回生

上田 それから、いまは廃校になっている米原市の甲津原分校という学校でも、地域の民具などが保管されているので調査を進めています。

— 平均的な学生よりは、普段から博物館との関わりのあるメンバーなわけですね。

「滋賀ミュージアム・ポケット・ナビ」の配布

山川 今年度から当協議会では、「県内にある大学の学生さんに博物館・美術館へ来てもらいたい、地域の文化や自然を学んでもらう」ための取り組みをしています。昨年度には県内の博物館・美術館を紹介する

「滋賀ミュージアム・ポケット・ナビ」を作成し、県内の大学に配布しました。

「ポケット・ナビ」と連動して、10月4日〜11月30日には「いちおし展示」も参加館で行いました。その期間中に付属のアンケート用紙に回答して提出すると引き換えに特製クリアファイルをプレゼント、また参加館によっては入場料割引などの特典がありました。

回収できたアンケート結果では、草津宿街道交流館に龍谷大学の学生が10名以上のグループ単位で来て、浮世絵体験や着物体験をしたり、滋賀大学と滋賀医科大学の学生さんが長浜市の成田美術館に、滋賀県立近代美術館との組み合わせで来館したりしていました。

亀田 アンケートではその館までの「交通手段」も尋ねたのですが、自動車やバイクがゼロではなかったものの、主体はやはり電車なので、駅から徒歩で行ける博物館・美術館に限られてしまった感じはあります。各大学での配布も初めての試みだったので、うまくいったのか不安ではありましたが、県立大学ではどうでしたか？

片岡 県立大生向けのポータルサイトの掲示板に、「食堂に置いてあるので、ほしい

↓「滋賀ミュージアム・ポケット・ナビ」A6判、24ページに滋賀県の博物館・美術館70施設を紹介。



人は取りにきてください。」とあるのを読んで、行ってみると置いていなくて……。渡邊 なくなっちゃったんだと思います。図書館に置かれていたのは、なくなってあとで補充されていました。

山川 ごめんなさい。なかなか一人ひとりの学生さんの手に渡っていなかったようので配布は、年度初めの4月、全員に必ず渡すというような感じの方がよいのでしょうか。渡邊 博物館を訪ねるとしたら、4月だと新入生は学校の授業や新生活に慣れることが優先でそれどころじゃないでしょうし、2〜3年生もゼミが始まったり、授業の単位がどうとか忙しいと思います。お花見すら行けなかったりする状況なので。気持ちの余裕があるのは、3月かな。

第1回 日本と世界を知る湖南・甲賀の旅

——『ポケット・ナビ』に続いて、バスで地域を学ぶ博物館ツアーが実施されました。これは訪問館とスケジュールの企画案をつくる段階から皆さんが関わり、2つのコースが決まったんですね。

渡邊 初回の「日本と世界を知る湖南・甲賀の旅」は、主に2年生組で考えたものです。MIHO MUSEUMは、もう2年生の中ではダントツ人気で、みんな行きたがっていた館です。

上田 MIHOは交通アクセスの問題で、学生にとってはなかなか「行く」という行動にまでは移せない場所なので。滋賀の他の博物館や美術館にも言えることだと思うんですけど。

渡邊 甲賀市信楽のMIHOを起点に、他の訪問先を考えていきました。甲賀流忍術屋敷は、留学生の方の参加を意識してです。海外の人に、楽しみながら学んでもらえる所を考えると、ここだろうと。そして、紅

片岡 だけど、3月に向けて配るのが難しいですね。

渡邊 学校にすら来ないし(笑)。

片岡 ぼくたちのように学芸員志望や博物館・美術館の仕事に興味がある学生に限られますけど、授業でとりたいたいと思っている子なら、4月にもうえれば、まずナビを使って回ると思います。

——夏休み前に配って、自転車であちこち回ってもらうのは無理ですか。

渡邊 夏なら、「博物館に涼みにいこう」とみたいな感じならいいかもしれないですね。でも、学校に学生がいらないんだよね。

上田 帰省してて、滋賀にいない可能性もあるよね。

亀田 配布時期は検討課題ですね。

葉の中で、国宝の本堂や多くの仏像を間近に見ることができる善水寺ということで落ち着きました。

片岡 2回目の「水辺の歴史と暮らしを感じる湖東・湖南の旅」コースは、4回生が中心に考えました。戦国時代の城跡がある安土と、江戸時代の街並みが残る近江八幡をセットでということ。どちらも駅から少し距離があるというのも、選んだ理由の一つです。

——そこに野洲市歴史民俗博物館が加わったのは、なぜですか？

山川 すみません。それは協議会が口をはさみました。訪問館でワークシヨップをして、何か手土産を持ち帰ってもらえるプログラムをコースの中に入れたと考え、近江八幡から近い銅鐸博物館の「勾玉づくり」を盛り込みました。

——それでは、訪問したそれぞれの館について、感想をお願いします。まず、MIHO



↑歩いてトンネルを抜けると MIHO MUSEUM の建物が見えてくる

↓同館バックヤード



O MUSEUM.

渡邊 ちょうど紅葉のシーズンで、お天気もよくて、トンネルを抜けて、彼方に見える建物自体の迫力もあって、印象に残っています。順番に説明を受けたのですが、時間的な制約があったので、自由行動がなくて、興味のある展示に行って、じっくり見る時間がなかったのが残念ですね。絶対もう一度行きたいです。

上田 外観や内部の展示の工夫などをわかりやすく説明していただいて、全体像はわかったので、次に個人で行った時にはもっと楽しめると思います。

——MIHOは敷地の広さもあって、海外の美術館にきたような高揚感がありますね。

山川 MIHOでは特別にバックヤードにも入れていただきました。めったに美術館の裏側に入ることはできません。

渡邊 私はバックヤードにも興味があるので、来館した際にできれば入れていただきたい。

山川 自然系の博物館でも、標本などがある部屋は管理が非常に厳しく、一般に入室するのは難しいですね。ただ、琵琶湖博物館の水族のバックヤードなどは年に何回か見学ツアーを実施しています。

——次の甲賀流忍術屋敷はいかがでしたか。

上田 ごく普通の家並みの中の細い道を入ったところに建っていたのが、とても印

第2回

2014年12月7日(日) 実施

水辺の歴史と暮らしを感じる 湖東・湖南の旅

1 滋賀県立安土城考古博物館



2 かわらミュージアム



3 銅鐸博物館 (野洲市歴史民俗博物館)



第1回

2014年11月15日(土) 実施

日本と世界を知る 湖南・甲賀の旅

1 MIHO MUSEUM



2 甲賀流忍術屋敷



3 善水寺





↑甲賀流忍術屋敷の展示
↓床下の抜け穴



↑善水寺の名前の由来となった、境内に湧く「善水元水」

象に残っています。

渡邊 一人で行ったら、迷っちゃいそう(笑)。

上田 何百年も続いて来た集落の中の一軒の民家が博物館になっているので、「本当に忍者がいたんだ」と思うと感慨深かったです。

——**立地自体に歴史を感じたわけですね。**

上田 忍術屋敷は、外観も中も大きめの木造民家なのに、ちゃんとからくりとかあっておもしろかったです。

片岡 からくりの中で一番印象に残っているのは、小さな紙切れ一枚で戸を開けるしくみの出口。ガイドさんの説明に、みんな聞き入っちゃいました。

それと、手裏剣投げが体験できました。あれは結構コツが必要で、まったく的に当たりませんでした。

小池 ここは館内の撮影が自由なのがよかったです。撮り放題。展示ケースの中の武器をたくさん写真に撮りました。

渡邊 留学生さんたちも、もっと中を回りたいような感じでしたね。

——**次は善水寺ですね。**

第2回 水辺の歴史と暮らしを感じる湖東・湖南の旅

——**続いて、第2回。まず、滋賀県立安土城考古博物館です。あそこはJR安土駅からちよっと距離がありますね。**

渡邊 個人で行くと、ちよっと「うーん」となる距離ですね。

小池 結構遠い。私は、授業とゼミで行っ

上田 紅葉もちよっどいい感じの時期で、絵になる場所でした。奥まった少し離れる

と気づかないような場所に、こんな立派なお堂と仏像があるのかとびっくりしました。小池 境内の池もきれいでした。

渡邊 留学生の方がいっぱい写真を撮っていましたね。あそこのお水も飲んで。

山川 ケニー君ですね。開山の最澄が病気の桓武天皇に献上して、寺の名の由来にもなった泉です。ツアー後のケニー君の感想文は英文ですが、「Virtue Water Temple」と漢字一文字ずつの意味を英訳して、お寺の名前の意味がわかるようになっていました。

片岡 本堂の中の仏像の多さにも圧倒されました。ここも時間がおしていたのが残念でした。あとからパンフレットを見ると、もっと境内にいろいろな建物があるとわかったんですが、回れなかったですね。もっとじっくり見たかったです。

——**博物館のツアーに、こうしたお寺や神社を組み込むのはよかったですか。**

小池 駅から遠いお寺や神社に行けたのはいいですね。

たことがあり、3回目だったので。

——**安土城跡のある安土山にも登って。**

渡邊 私はずっと行きたかった場所でした。片岡 あいにく曇り空だったのですが、時間をかけて石段を登って、広々とした風景を見るといいのはよかったですね。信長と

かがこういう感じで眺めていたのかと、あの場に立つと考えてしまいますね。

——**学芸員による解説はいかがでしたか。**

渡邊 おもしろ

かったです(笑)。貸し出し中のお人形を「身赴任中」と言ったりユーモアを交えた楽しい解説で。時間がながい中、たくさん伝えたいという熱い気持ちが伝わってきて。

亀田 学芸員の藤崎高志さんですね。

渡邊 その姿を写真に撮ろうと何回もシャッターを押したんですけど、ちゃんと真ん中に藤崎学芸員がおさまる写真が撮れないぐらい。

山川 身振り手振りを交えての解説で、常に動いていたという(笑)。

——**館の方の展示は、どうでしたか。**

小池 あそこは、安土城の展示が中心かと思いきや、結構古代史に関するものが多いですね。私は考古ゼミに入っていたこともあり、古墳時代が好きなので楽しかったです。

——**古代史ファンは、安土城跡ではなく、そばにある瓢箪山古墳に寄ってから行く博物館もありますからね。**

——**屋食は、「近江牛すき焼き一人鍋セット」だったそうで。**

渡邊 おいしかったです。意外と留学生の方が、すき焼きを

↓解説中の藤崎学芸員(渡邊さん撮影)



「近江牛すき焼き一人鍋セット」





↑琵琶湖とつながった運河「八幡堀」。多くの時代劇のロケ地となった（片岡さん撮影）

食べ慣れていたのびっくりしました。生卵とかわからないかなと思ってたんですけど、卵が配られると、すぐに箸でしゃしゃ力かき混ぜだして、普通に付けて食べていました。

亀田 参加者には、アレルギーがないか、特に留学生はベジタリアンがいなかは確認しました。一回目の昼食は、一人だけ別メニューでお肉ではなく、魚にしましたね。
——2回とも近江牛メインの昼食だったようですが、琵琶湖の魚がメインは難しいでしょうか。

渡邊 私は好き嫌いは何もないですが、肉と魚を並べられたら、お肉の方を食べてしまうかもしれないです。

上田 私は焼き魚が好きで、焼きモロコとかでも喜んで食べます。なかなか食べる機会がないけど。

山川 大学生協の食堂に、琵琶湖産の魚のメニューなどは置いていませんか。

上田 湖魚は置いていないです。
片岡 滋賀県産とうたっているのは、お米ぐらいかな。棚田で作られたお米を、大々的に宣伝していたのを見たことがあります。渡邊 学生のグループがつくっている野菜を材料にしたメニューもあったはず。

——滋賀県ならではの目指すなら、ツアー

の交通手段も、バスでなく、船でめぐるというのも考えられますね。

亀田 じつは今回も、「船で回りたい」という案だったら可能だったんです。時間的なことや組み合わせの関係で、バスになっただけです。

渡邊 授業で塩津港から竹生島に渡りましたが、小型船だったからか酔いました。船なら、なるべく大型船でお願いします。

——次が、八幡堀とかわらミュージアム。

片岡 以前、八幡堀は授業の一環で歩いたことがあるんですけど、風情があるというか、これは映画やテレビドラマの撮影に使われるだろうなと思いますね。

渡邊 電線も下を通っていますから。

片岡 かわらミュージアムで印象に残っているのは、金箔瓦。桃山文化といえば絢爛豪華と、授業でも聞かれますけど、実物を見て、ああ、瓦まで金にしているのかとそれから、瓦と一口に言っても、地域や国によって、材質や色、形状に違いがあることがわかりました。あと瓦人形というものがあつたことに驚きました。瓦でこまでできるんだという。瓦Ⅱ屋根というイメージがあるので、思いつかないですね。
小池 ミュージアムに行くまでの道には、古い瓦を埋めているいろいろな模様がつくられていました。こんな使い方ができるのかと思いましたね。

片岡 魚のコイが大きく描かれてるんだっ

←かわらミュージアム館内の展示



↓銅鐸博物館にて。野洲市で出土した日本最大銅鐸の復元銅鐸



け。タイルで絵を描くみたいな感じで。

——最後に銅鐸博物館ですね。

亀田 銅鐸博物館は2013年、東京国立博物館から日本最大の銅鐸の里帰り展示がありました。

——皆さん、野洲でたくさんさんの銅鐸が見つかったとかいうのは知っていましたか。

上田 聞いたような気がするけど。

渡邊 そんな気もするけど。

片岡 歴史系の学生でありながら、正直、「野洲Ⅱ銅鐸」というイメージはなかったですね。

——古代の銅鐸や銅剣という……。

小池 出雲。私は古代史も好きなので滋賀県に多いことも知っていましたが、普通は博物館の展示を見て初めてわかるみたいな感じだと思います。

上田 そもそも留学生からすると、「銅鐸って何？」みたいな感じにならないですか。日本人の私自身、いまいち、銅鐸って何なんだみたいな。

——そもそも「何に使われたか？」という議論を研究者がずっとしている状態ですから、説明しづらいですね。

渡邊 学校の歴史の教科書や資料集で写真を見たことはあるんですが、現物は単純に「こんなに大きいものもあるのか」とびっくりしました。自分の中では、もう少し小

さいイメージだったのだ。

片岡 復元された銅鐸は初めて見ました。使われていた時代には、こんなにきれいに輝いていたんだという。

渡邊 あれがあったら、あがめたくなりますよね。私は最初から青緑色だと思っていました。「青銅器」という名前からして。

——**ここでの勾玉づくりはいかがでしたか。**
渡邊 勾玉という形がイメージされるのですが、つくる形は自由でした。

片岡 いくつか過去につくった人の作品をサンプルとして見せてもらって、それなら自分はこうする。

小池 材料は滑石かつせきと呼ばれる石で、完成後に糸を通すための穴をまず初めに開けてペンで下描きして、砥石とじで削って、ヤスリでひたすら磨く。仕上げはサンドペーパー。

片岡 僕は王道の勾玉の形でいきました。
小池 扇子形にしたのですが、ほとんど貝みたいな感じになってしまいました。

渡邊 私は普通の勾玉形だとかわいさががないなと思ったので、ちょっと太った感じの、

ツアーを通して知った滋賀の新たな顔

——では、ツアー全体を通して、反省点も含めて感想をお願いしますか。

先ほどのケニール君のツアー後の感想には、やっぱり言葉の壁があるので、「MIHO MUSEUMには英語による解説があって入っていきやすい」という意味のことを書いていますね。

片岡 説明のさじ加減がわからなかったですね。申し訳ないことをしたなと思います。渡邊 自分が興味のある分野で調べはじめると、どんどん深いところに入ってしまうし。そもそもどこから話せばいいのか。

片岡 「江戸時代」、「安土桃山時代」といってもわからないですよ。アジアの留

オタマジャクシ型でぎゅつとしたようなやつをつくりました。実家に帰った時に、親にも見せてきました。

——**こういったワークショップができる館というところ、他ではどこでしょうか。**

山川 琵琶湖博物館では、ヨシ笛づくり、化石のレプリカづくり、ジジミのストラップづくりなどが、学校団体向けの学習プログラムにあります。また、毎月第2土曜の午後を実施している体験プログラム わくわく探検隊は、当日受付のワークショップがあります。これまでに「おゆまるくん（商品名）」というお湯に入れるとやわらかくなる樹脂粘土を使って、プランクトンをつくったり、透明シートを何枚も重ねて琵琶湖の湖底地形をつくったりしています。

形からしてプランクトンはおもしろいですよ。多色の「おゆまる」樹脂でカラフルに仕上がつて、ある種アートなんです。自宅に飾ってもOK。他館でも滋賀県立陶芸の森や近代美術館ではいろいろなワークショップをやっていると思います。

学生が多かったから、中国のそれぞれの時代の国名をあげるとわかるのかな。

渡邊 中国王朝の日本の何と時代を、対照表みたいなのを掛けておかないとわかりにくいですね。私たちが何気なく使っている用語が、もしかしたら伝わっていないかもしれない。バスの車内での事前の案内も、2回目は紙芝居みたいなものをつくって工夫しました。

山川 今回のツアーの第一の目的は、大学生の皆さんに「地域を知ってもらおう」ということだったのですが、その点で感想をいただけますか。

片岡 スタッフとして参加し、いろいろな



↓ 完成した
オリジナル勾玉
（渡邊さん作）
↑ 「勾玉づくり」体験
← 仕上げにサンドペーパーで磨く



館を回ったんですけど、滋賀県の新発見の連続でした。大学のゼミや活動の関係でいろんな所を回る機会が多い方だと思っていたのですが、野洲の銅鐸など初めて知ることができました。

小池 私は、いろんな町をめぐってみて、各地域ごとの特色があることを発見しました。同じ滋賀県でも、山側の甲賀は、琵琶湖に近い平野部とは明らかに違う雰囲気があったり。

渡邊 私は滋賀に来てまだ2年目で、県内を回りたい、回りたいと思いつつも、実行できていませんでした。それが、企画の段階から関わって、こんな所にこんな博物館があるんだとか、名前は知っていたけど、こういう展示があったんだとか、実際にはツアーで行かなかった博物館や美術館についても知識が増えたのがよかったです。

上田 私と同じようなことを思ったんですけど、ツアーの企画の段階で、こんなものがあるんだと、新しく滋賀県のことを知るきっかけになったなと思います。

普段は行きたくても、行くのが大変な所が多い印象なので、ツアーを通して、新しく滋賀県のことを知れたかなと思います。

——**本日は長時間ありがとうございました。**

(2015.2.2)

鍾馗しょうき

かわらミュージアム館長
小森健行

かわらミュージアムに展示されている飾り瓦「鍾馗」は、江戸時代後期の文政11年（1828）に作られました。八幡瓦の元祖である寺本家の寺本仁兵衛五代目兼武とその弟・西塚宗三郎の兄弟合作の作品です。

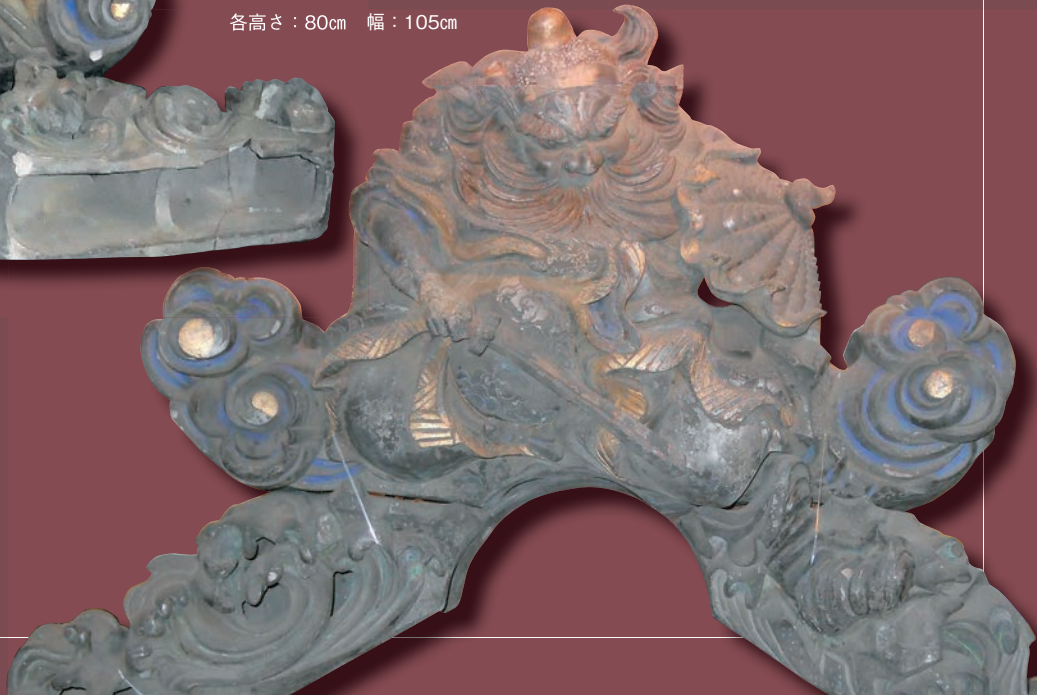
鍾馗は、主に中国や日本の民間伝承に伝わる道教系の神。日本では、疱瘡はうそうよけや学業成就に伝わる道教系の端午の節句に絵や人形を奉納したりされました。また、鍾馗の図像は魔よけの効験があるとされ、旗、屏風、掛け軸として飾ったり、屋根の上に鍾馗の像を載せたりします。

鍾馗の図像は、必ず長い髪を蓄え、中国の官人の衣装を着て剣を持ち、大きな目で何かをにらみつけている姿です。

鬼瓦（飾り瓦）は、棟の端に取り付ける飾り瓦であり、奈良時代には一般に蓮華文が用いられましたが、8世紀以降、獣面、鬼面へと変化しました。江戸時代の初めころより実さまざまな形のが出現しています。例えば、家を建てる際には吉相を選び、鬼門を避け、さらに鬼門の方向に向かって猿面さるめんの瓦を用いて難を避けるとか、頭巾かぶと飾りのある鬼面瓦をつけて災難を防ぐために飾られたと記されています。

この鍾馗も上述した祈願のもとで作られたものであり、今日では鬼面以外のさまざまな意匠も用いられています。

各高さ：80cm 幅：105cm



ヤンマーミュージアム 2周年記念イベント

3月21日(土・祝)・22日(日)



ヤンマーミュージアム開館2周年の感謝を込めて、記念イベントを開催します。

地元の農産物や加工品の生産者直売マルシェや、建機シミュレーターのバージョンアップ、人気の足湯が期間限定で薬草湯に変わるなど、子供から大人まで楽しめるイベントです。

両日、先着15組様にバウムクーヘンのプレゼントがあるのでお見逃しなく！

休館日：月曜日(祝日や振替休日の場合翌日)

入館料：一般600円、中・小学生300円、未就学児無料
※2周年記念イベントの、「春マルシェ」と「ものづくりの楽しさをさわって学ぼうコーナー」は、無料ゾーンで開催します。

お問い合わせ先：TEL 0749 (62) 8887

戦国合戦のかたち

—川中島合戦から大坂の陣まで—

4月25日(土)～5月31日(日)

滋賀県立安土城考古博物館

合戦と言えば「天下分け目」「雌雄を決す」といったイメージが強いですが、実際の合戦の歴史を紐とけば、政治的交渉の中で儀礼的に行われた場合や、年中行事的に行われるもの、あるいは、偶発的に発生した場合など、多様な合戦の在り方が見えてきます。絵画資料や文書資料から、こうした多様な合戦の在り方を検証し、「戦国時代」の意味を問い直します。



↑「賤ヶ岳合戦図屏風」左隻・部分
(大阪城天守閣蔵)

休館日：月曜日(5月4日は開館)・5月7日

入館料：大人890円、高大生630円、小中生410円、県内高齢者(65歳以上)450円

お問い合わせ先：TEL 0748 (46) 2424

中神コレクション「武者絵の世界」

3月21日(土・祝)～5月24日(日)

草津宿街道交流館

歴史上の武将やその合戦の場面が描かれ、庶民を魅了し流行した武者絵を草津市蔵・中神コレクションからご紹介します。



↑歌川芳年画「粟津ヶ原大合戦之図」

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌平日)、祝日の翌平日(土・日曜の場合は開館)

入館料：大人200円、高大生150円、小中生100円

お問い合わせ先：TEL 077 (567) 0030

三上藩・藩士鷺見家の歴史

3月21日(祝)～5月31日(日)

銅鐸博物館(野洲市歴史民俗博物館)

野洲郡三上村(野洲市三上)を拠点とした三上藩とその藩士である鷺見家の歴史を、鷺見家資料などから紹介します。

休館日：月曜日(5月4日は開館)・4月30日・5月7日

入館料：大人200円、高大生150円、小中生100円

お問い合わせ先：TEL 077 (587) 4410

江若鉄道の思い出

開催中～4月12日(日)

大津市歴史博物館

かつて湖西の重要な交通機関として愛された江若鉄道の廃線から45年余り。営業当時の懐かしい写真を中心に、多くの人々に語り継がれる思い出話を織り込みながら江若鉄道を紹介します。



↑安曇川を渡る 昭和44年 福田静二氏撮影

入館料：大人400円、高大生300円、小中生無料

休館日：月曜日

お問い合わせ先：TEL 077 (521) 2100

曾我蕭白「富士三保図屏風」と 日本美術の愉悅

開催中～6月7日(日)

MIHO MUSEUM

江戸時代の絵師、曾我蕭白(1730～1781)の初公開作品をはじめ、MIHO MUSEUM所蔵の日本美術の数々が紹介されます。日本の象徴である富士山を描いた蕭白の「富士三保図屏風」、仙崖の「富士驚龍昇図」、円山応挙の「京名所図屏風」に加え、神像、古陶磁など日本の美術品約70点を展示。



↑曾我蕭白筆「富士三保図屏風」左隻
18世紀 (MIHO MUSEUM蔵)

休館日：月曜日(5月4日は開館、5月7日は休館)

入館料：大人1100円、高大生800円、小中生300円

お問い合わせ先：TEL 0748 (82) 3411



続 滋賀の子どものたからばこ

滋賀県児童図書研究会 編
A5変形並製本 総204頁 1400円＋税

伊吹もぐさや安曇川の扇骨づくりの歴史、日本の子ども向け童話の草分け・巖谷小波さんなど、滋賀の子どもたちに伝え残したい出来事や人物を紹介するお話13篇を「たからばこ」に詰めました。

女たちの義経物語 近江国鏡宿傀儡女譚

畑 裕子 著

四六判並製本 総256頁 1800円＋税

昨年5月に亡くなった作家・畑裕子さんの遺作。平安時代後期の流行歌である今様を歌う傀儡女が語る源義経と静御前の悲恋の物語。今様をちりばめつつ、中世に生きた人間としての義経らの軌跡を描く。



自治体行政マン奮闘記

南 史朗 著
四六判並製本 総200頁 1400円＋税

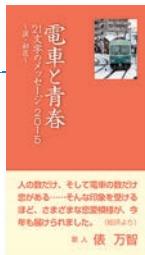
滋賀県庁職員として37年、18の所属を経験した著者が、各部署での課題にどのように対処したかを失敗談も含めて記録。入札契約制度と議会運営に関する改善案と、行政組織のリーダーに必要な資質についても述べる。

電車と青春

21文字のメッセージ2015 涙・初恋

石坂線21駅の顔づくりグループ 編
新書判並製本 総90頁 600円＋税

通学の足としてなじみの京阪電鉄石山坂本線。「電車と青春」にちなんで21文字のメッセージ募集も、第9回。最終審査員に依万智さんを迎え、過去最多5048通の応募の中から選ばれた作品100点を掲載。



滋賀ミュージアムガイド

滋賀県博物館協議会 編
A5変形並製 総160頁 1200円＋税

滋賀県博物館協議会に加盟する博物館＆美術館70施設を、「日本を変えた戦国の舞台」「日帰りでお会いする西洋と東洋の美」など、10のカテゴリーに分けて紹介。基本データの他、学芸員のイチオシ、人気のミュージアムグッズなども掲載したオールカラーガイドブック。



すごいぞ！彦根城

サンライズ出版 編
B5判並製本 総48頁 1000円＋税

彦根城とはどんな城なのか。天守や櫓などの建物だけでなく、石垣や堀、虎口、大堀切、土居などについて、最新の研究成果をもとに写真やイラストを交えながら、小学生でも理解できるようにわかりやすく解説。

3月下旬
発売

島で ハンセン病療養所の百年

阿部安成 著
四六判並製本 総192頁 1800円＋税

昨年、創立100周年を迎えた国立療養所大島青松園(香川県高松市)のキリスト教宣教会。「瀾文学の四高峰」の一人と讃えられた長田穂波をはじめ、信徒の創作や演劇活動を通して、絶対的隔離の中の生の痕跡をたどる。



3月下旬
発売



わじょう 倭城を歩く

織豊城郭研究会 編

A5判並製本 総190頁 2400円＋税

豊臣秀吉による文禄・慶長の役で16万もの軍勢が朝鮮に出兵、数多くの城郭を築いた。朝鮮半島南岸に築いた城は「倭城」と呼ばれ、現在もその城跡が残されている。釜山周辺に連なる倭城を、写真、概要図とともに紹介。

はっちん おいしい琵琶湖八珍 文化としての湖魚食

滋賀県ミュージアム活性化推進委員会 編

A5判並製本 総136頁 1800円＋税

琵琶湖を代表するビワマス、ニゴロブナ、ハス、ホンモロコ、コアユ、イサザ、ビワヨシノボリ、スジエビを「琵琶湖八珍」として選定。魚介8種の漁法と調理法を通して、魚食文化の豊かさに向。



1冊でわかる滋賀の仏像 文化財鑑賞ハンドブック

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 編

A5判並製本 総120頁 1000円＋税

奈良・京都と並ぶ仏教文化財の宝庫、滋賀県の国宝・重要文化財を含む主要な仏像を、種類ごとにわかりやすく紹介したハンディーなカラーガイドブック。主要寺院の境内図も収録。

こうじゃく 江若鉄道の思い出 ありし日の沿線風景

大津市歴史博物館 編

A5判並製本 総128頁 1600円＋税

琵琶湖の西岸、浜大津から今津までを結んでいた江若鉄道は、廃線から45年余りがたった現在も懐かしむ声が絶えない。路線全駅の運行時の写真と解説文でよみがえる「昭和の鉄道の記憶」。



長浜盆梅展

長浜観光協会 編

B5変形並製本 総80頁 1000円＋税

毎年1月から3月初旬にかけて、開催される「長浜盆梅展」。古木は現在2000本を数え、盆梅園場では専門の管理者が年中世話をしている。盆梅の歴史やその育て方、会場である慶雲館のことなどを、盆梅写真とともに解説。



近江学 第7号

成安造形大学附属近江学研究所 編

AB判並製本 総96頁 1800円＋税

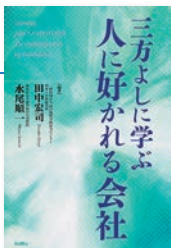
鋤の刃先など鉄製農具の修理をおこなう野鍛冶、地中に埋められた形で発見される青銅製祭祀具・銅鐸、大津祭の曳山を彩る華麗な金工品——。物心両面で人を豊かにした「金」（金属全般）をテーマに、近江の文化を特集。

さんぼう 三方よしに学ぶ 人に好かれる会社

田中宏司・水尾順一 編著

四六判並製本 総224頁 1800円＋税

企業と顧客、社会との良好な関係が求められる今、人に好かれる会社は、経営理念を基にCSRがあり、利害関係者とともに栄え、繁栄する会社であると説く。



滋賀県庁舎本館 庁舎の佐藤功一×装飾の國枝博

石田潤一郎・池野保 著

A5判上製本 総112頁 2000円＋税

完成から75年、国の登録有形文化財に登録される滋賀県庁舎本館は、経験豊富な2人の建築家が挑んだ近代建築の総決算だった。構造や意匠、建築経過などを、写真・図版とともに紹介。



表紙写真 安土城跡の石段にて（近江八幡市安土町下豊浦）

博物館ツアー第2回で訪れた大学生一行に、安土城の歴史を解説する滋賀県立安土城考古博物館の藤崎高志学芸員。

編集後記 ツアーには、滋賀県立大学のほか、立命館大学、龍谷大学、滋賀文教短期大学からの参加がありました（中国、タイ、ベトナム、マレーシアからの留学生を含む）。現在リニューアル作業中の滋賀県博物館協議会ホームページでは、参加者の感想と撮影した写真を公開する予定です。

㊦

Duetの定期購読をご希望の方は、下記までお申し込みください。

〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町655-1

サンライズ出版株式会社 Duet 編集部

TEL (0749) 22-0627 FAX (0749) 23-7720
(振替) 01080-9-61946

インターネットでDuetがお楽しみいただけます。

<http://www.sunrise-pub.co.jp/>

お申込先